

# あれこれ 町政を問う

**Q. 災害に強い町づくりを**

**A. 地域防災計画を全面的に見直します**



八束 正 議員

**問**

東日本大震災の被災状況を見るにつけ多くの課題が改めて露呈した。そのことを踏まえ

① 地震発生時の初動体制や応援体制の充実強化が必要では

② 地域防災力の向上に向けた取り組みで、消防団員の増強や、消防団協力事業所を増やす努力を

③ 当町は山がなく想定している避難場所では、想定外の津波や風水害がきた場合被害に遭うおそれもあり大変不安だ。今一度避難体制や、避難場所の再点検を

④ 今後想定外に対応できる災害対策が必要と考える。災害に強い町づくりのため、地域防災計画の見直しを

**答**

町長

① 初動体制や応援体制の災害対策の拠点となる庁舎は、震度7に耐え得る設計となっております

**問**

り公的施設で最も地震に強い建物です。また、救援活動や緊急輸送活動、ボランティアの受け入れ態勢等は、地域防災計画に必要事項を定めています。更なる見直しや、検討をしていきます。

② 松前町消防団は、団長を中心にしつかりと役割を果たしてくれています。これからも女性消防団等も含めて充実強化に努めます。定数については、現在の三百十名を維持しながら、今後消防団のあり方について協議していきます。

③ 南海地震における津波の想定は、松前町の沿岸部では、最大1メートルとなつていますが、地震規模の見直しと津波被害の想定も見直し、必要な対策を考

えます。緊急時の避難場所や避難方法、あるいは、速やかにとるべき行動など分かりやすくコンパクトにまとめた、防災ハンドブックを現在作成中で、完成次第すべての世帯に配布します。

④ 今後予想される地震津波の想定に基づき、地域防災計画を全面的に見直ししていきます。



宮城県岩沼市大震災状況

**問**

教育振興基金の創設を

教育の町として教育振興の充実や、教育施設等の整備を促進するための教育振興基金の創設を。

**答**

創設は現時点では考えていません

教育長

今までも庁舎や総合福祉センター建設のように、多額の費用を要する場合は基金を創設し、計画的に財源の確保を図ってきました。学校施設についても、長期的な計画に基づく校舎建て替えなどの場合は、基金を創設し財源の確保が必要と考えますが、現時点では計画はありません。寄付についても、2年間で5万円しか寄せられていないことから、基金の創設は現時点では考えていません。今後ともふるさと納税を広くPRし、多額の寄付申し込みが合った場合には検討していきます。